

おかやま

考古学探検

こう こ がく たん けん

学校名

なまえ

岡山県古代吉備文化財センター

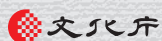
〒701-0136 岡山市北区西花房1325-3
TEL (086)293-3211
FAX (086)293-0142

岡山県古代吉備文化財センターの最新情報はこちら

岡山県古代吉備文化財センター



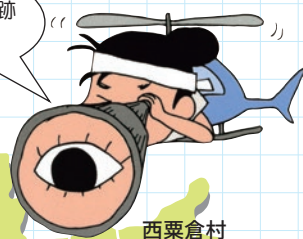
おかやま けん こ だい き び ぶん か ざい
岡山県古代吉備文化財センター



「発掘調査ってなに?」「調査の後はどうするの?」などの疑問に答える

考古学探検に、さあ出かけよう!

考古学って、むかしの人が残した生活の跡から歴史を明らかにする学問だよ。



岡山県のおすすめ遺跡

この地図の番号は、右の表「岡山県のおすすめ遺跡」の番号です。

13,000年前

2,000年前

1,500年前

1,000年前

500年前

100年前

新しい元号を記入しよう

時代	おもな出来事	岡山県のおすすめ遺跡
旧石器時代	氷河期、日本列島と大陸が陸続き	① 恩原遺跡群 (鏡野町)
縄文時代	氷河期が終わり、温かくなる 土器づくりが始まる	② 津雲貝塚 (笠岡市)
弥生時代	米づくりが始まる 金属器が伝わる 239年 邪馬台国の女王卑弥呼が中国の魏に使いを送る	③ 津島遺跡 (岡山市北区) ④ 橋築遺跡 (倉敷市)
古墳時代	前方後円墳が造られ始める 538年 仏教が伝わる	⑤ 造山古墳 (岡山市北区) ⑥ 四ツ塚古墳群 (真庭市) ⑦ こうもり塚古墳 (総社市)
飛鳥時代	645年 大化の改新	⑧ 鬼ノ城 (総社市)
奈良時代	710年 平城京に都がうつる 752年 大仏が完成	⑨ 備前国分寺跡 (赤磐市)
平安時代	794年 平安京に都がうつる	
鎌倉時代	1192年 源頼朝が征夷大將軍になる	⑩ 万富東大寺瓦窯跡 (岡山市東区)
室町時代	1338年 足利尊氏が室町幕府を開く 1467年 応仁の乱	⑪ 備中高松城跡 (岡山市北区)
安土・桃山時代	1600年 関ヶ原の戦い	⑫ 伊部南大窯跡 (備前市)
江戸時代	1603年 徳川家康が江戸幕府を開く 1867年 大政奉還	⑬ 備中松山城跡 (高梁市) ⑭ 津山城跡 (津山市) ⑮ 岡山城跡 (岡山市北区)
明治・大正・昭和	1914年 第1次世界大戦 1939年 第2次世界大戦	
平成		

埋蔵文化財 地面の下に残る、昔の人が暮らした跡。遺跡とも言います。

遺跡 集落や墓地など。遺構や遺物が見つかります。

遺構 昔の人が地面を掘った跡や、物を捨てた跡 (住居や貝塚など)。

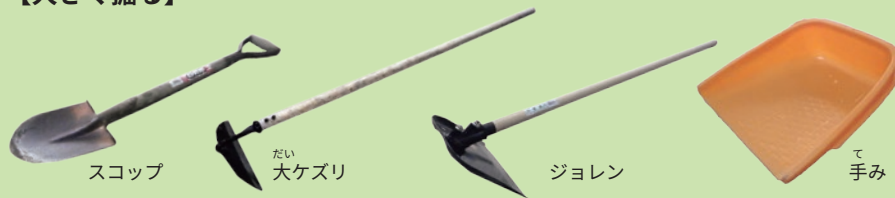
遺物 昔の人が使った土器や石器などの道具や食べかす (骨や貝がらなど)。

はっ くつ ちょう さ
発掘調査

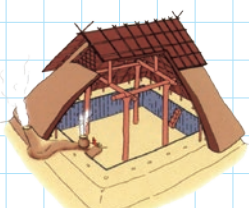
発掘調査とは、地下に埋もれた遺跡(埋蔵文化財)を調べて昔の人々の暮らしを明らかにする方法です。しかし、発掘調査をすると遺跡は元に戻らないので、図面や写真を使って正確に記録することが大切です。

いせき ほ どう ぐ
遺跡を掘る道具

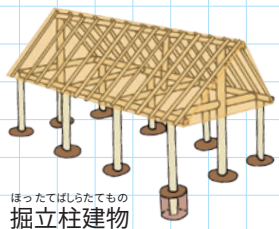
【大きく掘る】



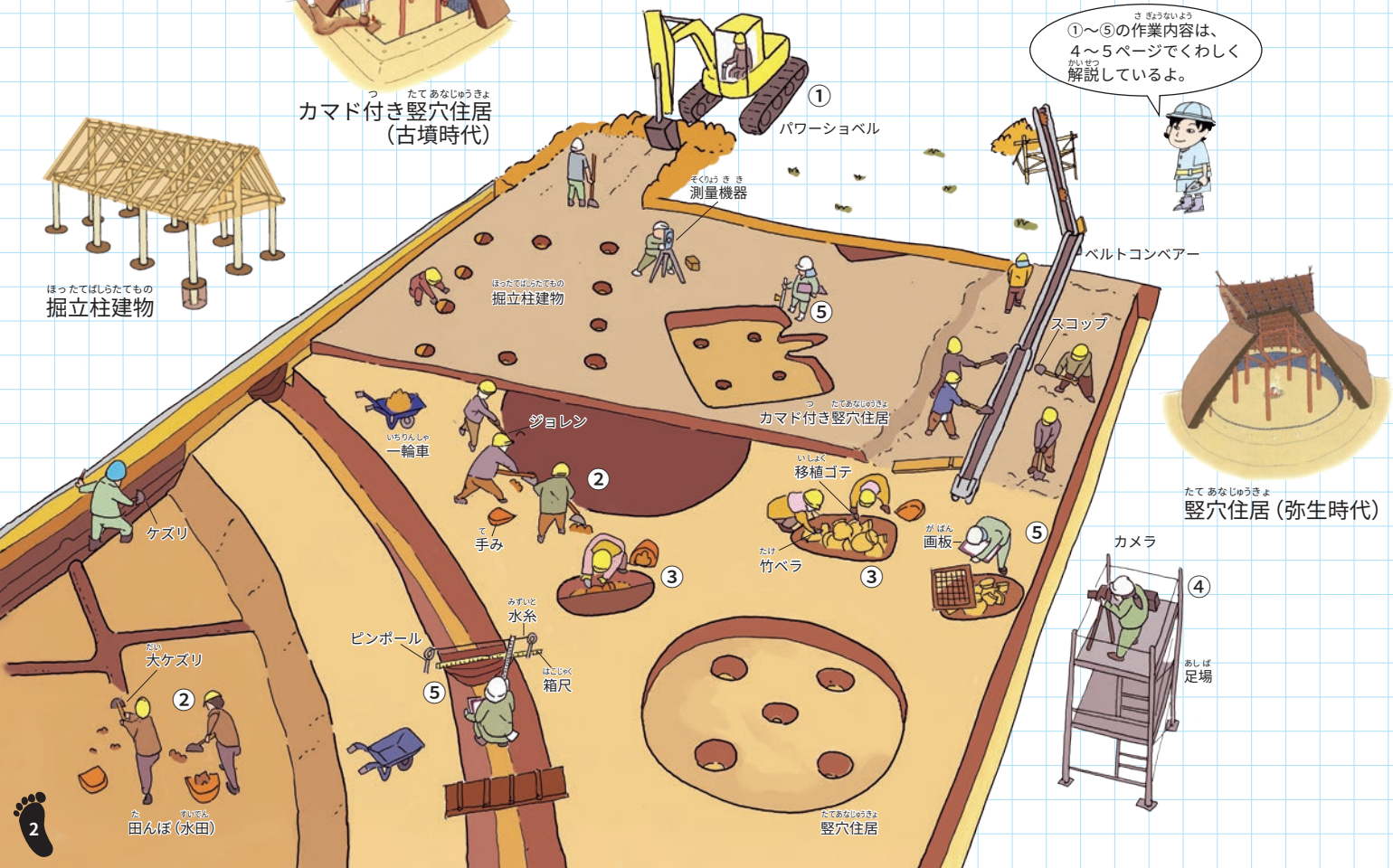
【細かく掘る】



カマド付き竪穴住居 (古墳時代)



ほったたてばしらたてもの 掘立柱建物



①～⑤の作業内容は、4～5ページでくわしく解説しているよ。



たてあなじゆうきよ 竪穴住居 (弥生時代)

き ろく どう ぐ
記録をとる道具

【測量】



【写真】



発掘調査 一作業のながれ



①掘り下げる

調査の対象となる深さまで掘り下げます。パワーショベルを使う場合もあります。



②遺構を探す

地面をけずり、昔の人の生活のあと(遺構)を探します。土の色などの違いを見分けるのが大切です。



土の色の違いがわかるかな？



③遺構を掘る

土の色や質を見分けながら遺構を掘ります。土器や石器などが出てきたら注意が必要です。



遺構の大きさによっていろいろな道具を使い分けているよ。



④写真を撮る

土器などが出土した様子を写真に撮ります。ドローンで高所から遺跡全体を撮影することもあります。



⑤図面を描く

遺構の形や、土器などが出土した様子を図面に記録します。測量機器なども使います。



正確に測って記録することが大切なんだ！



⑥遺物の取り上げ

取り上げた土器などの遺物はこの後どうなるのかな？ 次のページを見てみよう！



整理作業 一作業のながれ①

発掘調査の出土品と図面や写真などの調査記録は、センターに運んで整理します。そして、調査の成果をまとめた本(報告書)をつくります。ここでは、そうした整理作業のながれを見ていきましょう。



①洗う

表面についた土をブラシで洗い落とします。



②注記する

どこから出土したのかわかるように、土器に遺跡名などを書きます。



③復元する

土器の破片をつなぎ合わせて、元の形にもどします。欠けた部分にはせっこうを入れて色をぬります。

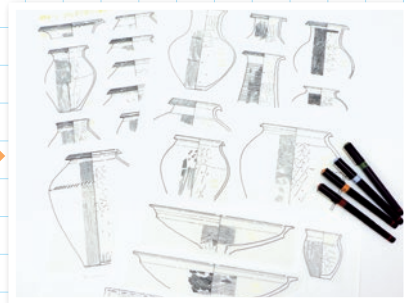


④実測する

土器や石器などの大きさや形を正確に測りながら方眼紙にかきます。つくり方をよく観察することが大切です。

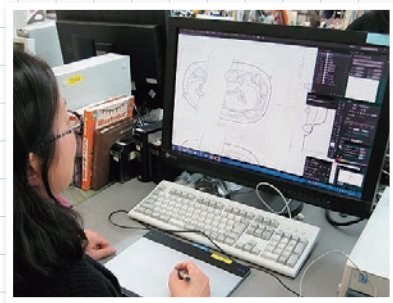


これらの道具はどのように使うのかな？



⑤トレースする

土器などの遺物や遺構の図は、製図用のペンやパソコンで清書をします。

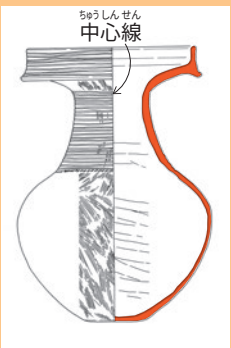


土器の実測図について

実測図の中心線より左側は土器の表面、右側は土器の内面を表現し、赤色の部分は土器の厚さを示します。この図面を見るだけで土器の形や作り方が分かるのです。



土器の写真



実測図

せいり さぎょう
整理作業 一作業のながれ②一



しゃしんと
⑥ 写真を撮る

いぶついろしつかんせいかく
遺物の色や質感などが正確
つたひかりあ
に伝わるように、光を当てて
と撮ります。



ほそんじょうり
⑦ 保存処理

もくせいひんきんぞくせいひん
木製品や金属製品は、ボロ
ボロにならないように必要な
しりょう
処理を行います。



ほうこくしよかんせい
⑧ 報告書完成!!

いこういぶつずしゃしん
遺構や遺物の図や写真に
せつめいぶんしやうけいさいほうこく
説明の文章を掲載した報告
書を刊行します。
ほうこくしよぜんこくとしよかん
報告書は全国の図書館や
まいそふんかざい
埋蔵文化財センターなどへ
おんく
送り、歴史の
きゆう
研究や遺跡の
ほそんやくだ
保存に役立て
られます。



ほかん
保管



ほうこくしよだいちょうい
報告書ごとに台帳をつけて遺
ぶつしゆうそう
物を収蔵します①。



もくせいひんきんぞくせいひんこんほうざい
木製品や金属製品は梱包材で
ほご
保護②をして、温度や湿度の調
せい
整ができる部屋(特別収蔵庫)で
ほかん
保管します③。

ほかんしりょうかしだし
きちんと保管して、資料の貸出
けんがくとだ
や見学があれば、取り出します。

はっくつちやうさせいりさぎやうようす
発掘調査や整理作業の様子はどうだったかな?
きづいたことや気になったことは書いておこう!



公開・活用

展示室

開館時間 ● 午前9時～午後5時
休館日 ● 年末年始(臨時休館あり)
入館料 ● 無料



展示室の様子

本館1階展示室では、センターが行った発掘調査の出土品を時代・テーマごとに展示しています。また企画展や速報展などを通じて、最新の成果を紹介しています。

ぼくたちを見つけたら
チェック✓しよう!
いない時もあるけどね。



人形土製品
(百間川兼基遺跡・弥生時代)



彩文土器
(百間川原尾島遺跡・弥生時代)



銅鐸
(高塚遺跡・弥生時代)



特殊器台
(西江遺跡・弥生時代)



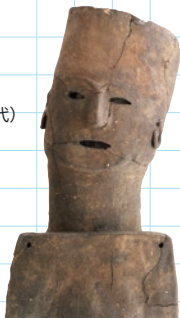
ヒスイ大珠
(津寺遺跡・縄文時代)



軒丸瓦
(加茂政所遺跡・飛鳥時代)



環頭大刀柄頭
(こもり塚古墳・古墳時代)



人物埴輪
(土井遺跡・古墳時代)



子持勾玉
(原尾島遺跡・古墳時代)



陶馬
(津寺遺跡・奈良時代)



桃の種
(上東遺跡・弥生時代)

見学者の声

「岡山県には多くの遺跡があることを再認識した。大切にしたい。」

「貴重な遺物がたくさんあるんだな。」

「今の生活は、歴史の上に成り立っているんだと感じた。」

発掘調査の成果を広く知ってもらうために、
さまざまな活動を行っています。

現地説明会

発掘調査の成果を現地で公開します。
発掘した遺構や出土品を見学できます。



体験・講座など

いろいろなイベントをしています。



土器づくり



鏡づくり



火起こし

昔の暮らしを体験する教室。土器づくり・鏡づくり・火起こしなどが人気です。



講座・講演会

県内で行われた発掘調査の様子や、最新の研究成果を紹介します。



遺跡探訪

県内のさまざまな遺跡を訪ねて、歴史を学びます。



刊行物

センターの仕事を紹介した「所報」や、遺跡のパフレットなどをつくっています。

みづかな遺跡について調べてみよう!

● 遺跡のなまえ

● 場所

● 時代

● 気づいたこと

遺跡を調べる方法

おかやま全県統合型GIS (地理情報システム)



「しよくいん げんち ある 職員が現地を歩いて 調べたんだよ。」

インターネットで岡山県にある遺跡の位置や、その内容について調べることができます。



遺跡に
行ってみよう!

津島遺跡



思わぬ発見があるかも!?

津島やよい広場

岡山県総合グラウンドにある津島遺跡は、弥生時代のむらの跡として有名です。ここでは当時の様子が分かるように、竪穴住居や田んぼなどを復元しています。

なかに入れるよ!



遺跡 & スポーツミュージアム

陸上競技場の1階にあります。津島遺跡の出土品を展示していて、当時の暮らしぶりを知ることができます。



開館時間 ● 午前9時～午後4時30分

休館日 ● 毎週月曜日 (祝日及び振替休日の場合は翌日)
年末年始 (12月28日～1月3日)、臨時休館あり

入館料 ● 無料